

高齢化地域を幸齢地域に

～地域住民主体ではじめる

小地域近隣福祉活動

経験的実践手法～

(高齢化するコミュニティにおける住民同士の支え合い)

岐阜県可児市 若葉台高齢福祉連合会

可児市若葉台 地域の概況

- * 愛知岐阜県境丘陵に造成 名古屋のベッドタウン
- * サラリーマン主体の都市型社会
- * 人口 約3000人 1170世帯
- * 44年を経過
- * 高齢化率 42%超



大規模住宅地における高齢化

* 国の福祉政策は

「今住んでいる所で尊厳を持って

その人らしく生活できるよう支援する。」

- 高齢者医療・介護施設の抑制
- 親孝行という文化が消滅
- 親類縁者・幼馴染といった人間関係がない

住民自身でつくる 豊かな**幸**齢化地域

- * 自治会で
高齡化の急進によって引き起こされる
様々な問題の頻発に直面
- * 「手をつなぐ 支え合う街 若葉台」
をスローガンに掲げたが・・・

自治会役員の高齡化！

自治会に高齡者福祉の対応ノウハウがない！

住民でできる「支えあいシステム」 若葉台方式

平成24年度1年間で
一挙にこれだけできました

支援センター建設 ・ ふれあいセンター建設
ふれあい 7事業 ・ 自立支援 5事業

平成24年度「岐阜県地域の絆づくり」重点指定地域
可児市まちづくり協働事業 認定

ふれあい活動のいろいろ

* 達者で長生き

* 健康寿命を伸ばす

302運動 毎週2回のウォーキング





和みの会 手づくりランチ

里山 バーベキュー



はつらつ幸齡塾 介護予防講座



はつらつ運動教室 毎週1回





寺子屋

健康麻雀教室 週2回



自立支援活動

- * 緊急しのぎ支援
- * 家事ちょこっと支援
- * ごみ出しサポート
- * 困りごと相談
- * 日常生活移動支援 (ほのぼのアッシーくん)

ほのぼののアツシーくん



日常生活移動支援 (ほのぼのアッシーくん)

- * 団地12停留所循環～駅前商店街2地点
- * 買い物・通院・銀行など
- * 月曜～土曜 午前10時～12時 4便
- * 無料
- * 利用者平均年齢 78歳
- * 昨年度利用者 3700人

新鮮な野菜・海産物等の即売



平成26年度年間利用者数

11,000人超え

近隣住民で進める地域活動 手 順

- * 手順1) 地域の現況把握
- * 手順2) 核となる地縁団体の連帯
- * 手順3) 住民合意
- * 手順4) 組織と運営
- * 手順5) のびのび活動できる環境づくり

手順1) 地域の現況把握

独居者実態アンケート調査

- * 「在宅自立」について 独居者の意識を知る
- * 親子関係 近隣関係 身体状況 心配なこと

手順2) 担い手をどこに求めるか

近所の人と助け合って他人の為に活動しよう
ナンテ 思ふ人は マズ いない

地縁団体が会合をくり返して

危機感の共有
連帯の合意

活動的人材・実践的ノウハウの宝庫

手順3) 住民の合意形成

* 自治会総会で

「高齢福祉対策の委託」 議決

* 高齢福祉連合会 結成

* 業務委託契約 締結

手順4) 組織と運営

- * 永続できる体制
- * 参加しやすい環境



役割があって身分がない組織

組織の機能分担

評議会 環境を整える裏方

- 地縁団体の代表者と自治会で構成した共同責任体
属人的でない仕組み
連合会の継続性の確保と硬直化対策
- 連合会運営を行う議決機関
わずらわしいことはすべて 評議会が行う
企画・渉外・資金・会計・募集・広報・研修・庶務

実際に活動する事業チームが主役

事業実施の主体は個別事業チーム

- ・連合会構成団体や一般住民で事業ごとに新編成

事業企画の大枠は評議会で決めるが

- ・事業チームに実施上の大幅な裁量権
- ・自主的に、のびのび実務にのみ専念

運営会議 (全事業チームと評議会の合同会議)
毎月状況報告

手順5) のびのび活動できる環境づくり

- * 対等の原則
- * 任意参加の原則
- * 自主裁量

対等の原則

小地域近隣福祉では

- ◆みんな対等
- ◆年齢 性別 履歴 家柄 なにもなし
- ◆役割はあるが 地位はなし

任意参加の原則

自分が

できるときに

できることだけやればいい

人が

やろうが、やるまいが

独自の方式で、こんな効果が

- * 構成団体間の垣根がなくなり 地域の総力が結集
- * 一挙に大量の人材(75名)とノーハウ集約
- * 男性比率が54%
- * 別人かと思えるほど人に優しい
- * 不平、もめごとが起きない不思議
- * 多事業運営で ストレス・負担感がない
- * 事業がそれぞれ自律的・発展的に運営されていく

質より量

- * 一つの専門料亭 より 十のB級グルメ屋台
- * 拙速でよい 歩きながら 考える
- * 行政・事業者と張り合うのでなく 隙間を埋める
- * **寄り添い** が地域だからできる在り様
- * 利用してもらおうことではなく **在る** こと

協働実施例

可児市 市長講演会〈市政報告会〉
幹部職員の地域会議出席 情報提供
広報寄稿
ケーブルテレビ・各種会合での称揚PR
* 弾力的制度適用

地域 事業の実施継承・率先実施
302運動 はつらつ運動教室 幸齢塾
寺子屋 脳トレサロン ゴミだし支援

地域に支えあいの仕組みがあることで



…住みなれたわが家で…

自立してやっていけるという

「自信と安心」 が人々の心の中に生まれ



気心のあう友人を 身近に作って、
互いに励ましあい支えあっていく…

幸 齢化地域
そのきっかけづくり

地域活動はなぜ立ち上がらないのか

資金・ 働き手・ やり方……ではなくて

周辺の人・組織

- ☆ 自分の立場がおびやかされる
- ☆ 小癪なことを
- ▽ 目立ちたくない
- ▽ 巻き込まれたくない

阻害反対されない工夫

市との協働

行政と地域住民がパートナーとして協働

① 役割り分担

行政はオーソリティー 地域は実務

② 啓発PR

地域住民向け 広報を反復継続的に

支援者を増やすよりも阻害者を少なくする

地域支援者向け 行政方針 統計資料の開示
提供

③ 資金

- 基本は自助努力

自主財源と受益者負担

- 公的補助金

立ち上げ費用 初年度の運営費